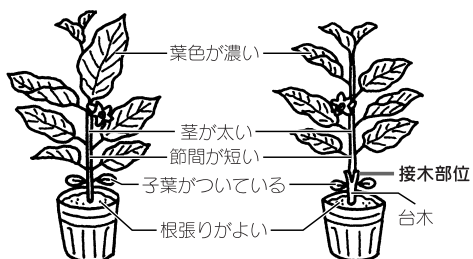


# ナス

## 1 苗の選び方

連作すると土壤病害におかされやすいので、できるだけピーマン、トマト、ジャガイモなどのナス科植物を植えていない場所に計画的に作付けします。もし連作する場合は、土壤病害に強く、作りやすい接木した苗を利用しましょう。



自根苗  
(じこんなえ)  
種から育てた苗

接木苗  
(つぎきなえ)  
病気に強いなどの、他の植物(台木)に接木した苗

## 2 畑の準備・植え付け

### 土作り

植え付けの2週間前までに苦土石灰、堆肥をまき深く耕します。

**土作り**  
苦土石灰: 1㎡あたり100g  
JAファーム有機堆肥: 1㎡あたり2~3kg

### 元肥・うね立て

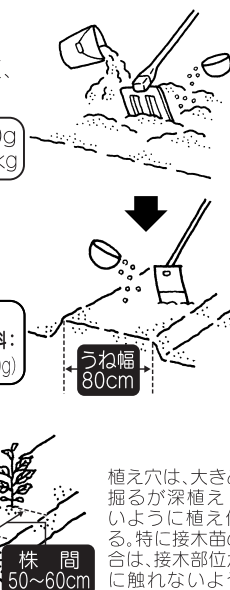
植え付けの1週間前までに元肥をまき、うね立てを行います。

**元肥**  
ナスは多肥を好む作物  
JAファームきゅうり、とまと専用肥料:  
1㎡あたり120~140g(ひと握り約40~50g)

### 植え付け

株間は50~60cmの間隔で植え付けます。苗は、購入後日当たりの良い所に2~3日置いてから植え付け、前日には十分に水を与え、根鉢が崩れるのを防ぎましょう。

植え穴は、大きめに掘るが深植えしないように植え付ける。特に接木苗の場合は、接木部位が土に触れないように植え付けること。



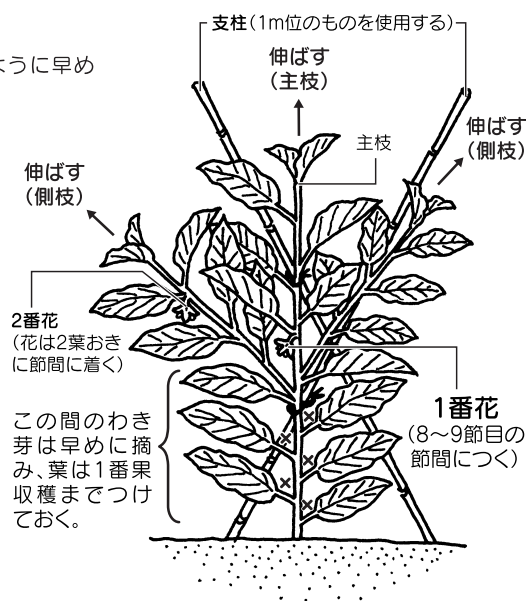
## 3 支柱立て・整枝(仕立て方)

### 支柱立て

風で苗が倒れないように早めに支柱を立てます。

### 整枝(仕立て方)

3本仕立ては、1番花のすぐ下の2本のわき芽と、主枝の計3本だけを伸ばし、それより下のわき芽は全部摘み取ります。

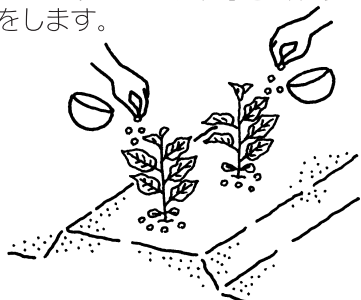


この間のわき芽は早めに摘み、葉は1摘果収穫までつけておく。

## 4 追肥

15~20日の間隔で、「JAファームやさいの追肥」を1株あたりにつき、ひと握りを目安に追肥をします。

**!** 肥料を多く必要とするので、肥料切れに注意。



### 花で分かる健康診断

●めしべが長い場合

●めしべが短い場合

栄養が行きとどいているかどうかは、めしべを見ればわかる。おしべよりめしべが短くなると、栄養不足なので早めに追肥をすること。



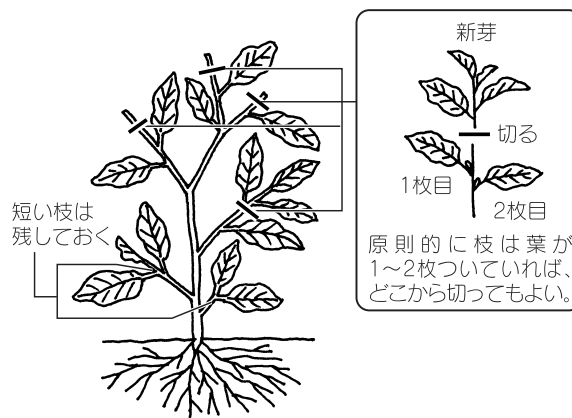
受粉しやすい  
良好(長花柱花)



受粉しにくい  
不良(短花柱花)

## 5 更新剪定

実つきが悪くなってきたら、7月中旬位に剪定を行います。



更新剪定を行うと、秋ナスの収穫ができる。

## 6 収穫

開花後、20~25日位で収穫ができます。早目の収穫を心がけて、株が弱るのを防ぎましょう。



朝夕の涼しい内に、ハサミで収穫する。

科名	ナス科
原産地	インド東部
連作障害	あり(4~5年)

制作  
JAファーム 専門部会  
(無断転載禁止)